

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、 感染対策を継続しましょう！

「まん延防止等重点措置」が郡山市及び福島市は9月24日で解除、いわき市は9月30日で解除となりましたが、今後も感染拡大防止のため、一人ひとりが徹底して感染対策に取り組みましょう。
また、**ブレイクスルー感染**も発生しています。

ワクチン接種後も、
「うつさない」、「うつらない」行動
をお願いします。

どの感染症に対するワクチンでも、その効果は100%ではありません。ワクチンを接種後に感染することを「ブレイクスルー感染」と呼びます。新型コロナワクチンの場合では、2回目の接種を受けてから2週間くらいで十分な免疫の獲得が期待されるため、それ以降に感染した場合にブレイクスルー感染と呼んでいます。

一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の基本：(1)身体的距離の確保、(2)マスクの着用、(3)手洗い、(4)換気

- ・人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。
 - ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - ・人と会うときは、症状がなくてもマスクを着用する。(不織布マスクを使いましょう)
 - ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)。
 - ・窓を開ける等して換気をする。(空気の流れを作る)
- ※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ・感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ・帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- ・発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモする。
- ・地域の感染状況に注意する。



咳エチケットとマスク着用について

咳エチケットとは、感染症を他者にうつさせないために、咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。
使ったティッシュは、すぐにゴミ箱に捨て、手を洗いましょう。



- 〈マスクを使う際の注意点〉
- ・マスクは鼻から顎にかけて覆うようにつける。
 - ・マスクを付けているとき、外すときは、表面を触らないようにする。

9月24日～9月30日は結核予防週間です！



■ 結核は、過去の病気ではありません。 ■

福島県内では、令和2年に122名の方が新たに結核を発症しています。そのうち、6割以上が65歳以上の方です（令和2年：80名（65.6%））。結核は、人から人にうつる感染症で、自分が結核だと気づかずに周りの人々にうつしてしまうことがあります。結核は早期発見・早期治療により治すことができますので、結核に関心を持ち、正しい知識を身につけましょう。

◆結核ってどんな病気？

結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。結核を発病し重症化している人の咳やくしゃみのしぶきには、結核菌が含まれています。このしぶきの水分が蒸発して、結核菌だけが空気中にただよって飛び、それを周りの人が直接吸い込むことによってうつります。「結核かな？」と思ったら、医療機関を受診しましょう。

◆結核かな？のサイン

- ・長引く咳（2週間以上）
- ・痰がでる
- ・長引く（体の）だるさ
- ・長引く微熱
- ・胸の痛み
- ・急に体重が減る

◆発見されにくい高齢者の結核

65歳以上の方は、結核の健康診断を受診する義務があります。年に1回胸部レントゲン検査を受けましょう。また、健診等で胸部レントゲン検査の精密検査が必要となった場合は、自覚症状がない場合でも、必ず受診しましょう。

◆生後1年までにBCG接種を受けましょう！

BCGは、結核に対する免疫をつけて、乳児の重症化を防ぐ予防接種です。生後5～8か月に、必ずBCG接種を受けましょう。



RSウイルス感染症が県内で急増しています

●主な症状

- ・鼻水や咳などの軽い症状
- ・ただし、生後数週間の子供が感染すると、**重症化**のおそれ



症状がある方は早めに医療機関を受診しましょう

一人ひとりが感染予防に
取り組みましょう！



発行日：令和3年9月30日

発行元：福島県県北保健所医療薬事課

住所 〒960-8012 福島市御山町8-30

電話 024-534-4113

ホームページ：検索キーワード